



日本の再保険契約の大部分は4月1日に更改されます。

再保険市場の値上がり、ハード化が2019年から伝えられていますが、基調は今年も変わりません。2021年度は日本においては損害保険会社が再保険回収を必要とする規模の自然災害がなかったため、全般的には前年よりも穏やかな更改交渉でした。

再保険料率水準を語る際に使われることが多い、風水災の再保険料は前年比2~5%程度の上昇、地震の再保険料は1~4%程度の上昇であったようです。それ以外の保険種目についてはほぼ前年水準で更改されているようです。

しかしながら、注意深く交渉が進められた分野があります。

ロシア、ベラルーシへの制裁、また戦争にかかわる保険分野です。料率だけでなく、条項の解釈、また再保険会社によっては文言の見直しなどを提案してきています。

ロシア、ウクライナの問題が保険市場にどのような影響をもたらすのか、影響が出ている保険種目に絞りご説明します。